

	各設問	はい	どちらとも言えない	いいえ	
環境・体制整備	1 利用定員は、指導訓練室等などの面積との関係で適切であるか	6	2	0	
	2 指導員の配置人数は適切であるか	8	0	0	
	3 子どもにとって危険がともなうような、施設や備品の損壊・故障などはないか	8	0	0	壊れたおもちゃは取り除くよう各スタッフに伝えている。置き場がある。
	4 ガラス窓や照明器具などの破損によるガラスの飛散が起こらないような対策をとっているか	7	0	0	
	5 子どもの行方不明や、部外者の勝手な侵入が起こらないような対策をとっているか	6	1	0	
活動の全体状況の整備	6 倫理綱領の策定、虐待防止委員会の設置、虐待防止責任者の選定をしているか	5	1	0	
	7 虐待防止マニュアルを策定するとともに虐待を防止するための研修を行っているか	3	2	1	子どもに注意するときの言葉が子どもを怖がらせていないか不安になる。自己チェックシートを配布し、取り組んでもらっている。
	8 防火・防災マニュアルを策定するとともに、火災・地震に対する訓練を定期的に行っているか	7	0	0	
	9 感染症予防マニュアルを策定しているとともに、感染症を予防するための研修を行っているか	5	1	1	研修ではないが、定期的にメール等で感染予防のための注意事項の確認をしている。
	10 個人情報保護指針を策定しているとともに、個人情報の取り扱いに十分に配慮しているか	7	0	0	
	11 子どもの事故やケガにつながるおそれを感じたときは、責任者に伝えているか	8	0	0	
	12 食物アレルギーのある子どもには、保護者の指示にもとづいて対応しているか	6	0	0	
	13 子どもの活動の記録を書いているか	8	0	0	
	14 子どものことがわからないと感じたとき、早わかりしようとせず、（どうしてなのか）と、自らに問い続けているか	8	0	0	子どもに注意するときの言葉が子どもを怖がらせていないか不安になる。
	15 子どものことがわからないと感じたとき、傍観するのではなくて、働きかけて変化を作りだし、理解しようとしているか	8	0	0	子どもと一緒に考える工夫している。
	16 子どものことがわからないと感じたとき、独りよがりの判断をせず、ほかの職員に意見を聞くなどしているか	8	0	0	職員との会議や面談をしている。
	17 子どもの”問題行動”に出会うとき、その内側に、その子の本当の願いが隠されていると考えて、内面を探ろうとしているか	8	0	0	ある程度はその子の事を考えて、それでも分からなかったら他のスタッフさんにアドバイスを貰っている。
	18 子どもの”問題行動”に出会うとき、わが身に引き寄せるなどして、その理由を共感的に理解しようとしているか	8	0	0	理解しながら、子どもの気持ちになりながら一緒に考える。

	各設問	はい	どちらとも言えない	いいえ		
実践的な力量の向上	19	子どもの表面的な事柄を並べるのではなくて、働きかけて、肯定的な事実を作りだし、それを意味づけようとしているか	8	0	0	
	20	気持ちの育ち（人格の形成）には、その子固有のテンポがあるということを押さえて、子どもを理解しようとしているか	8	0	0	子どもの気持ちになりながら理解しようとしている。
	21	子どもの発達、ひたすら前進するのではなくて、新しい矛盾を抱え込むと押さえて、子どもを理解しようとしているか	8	0	0	子どもの気持ちになりながら理解しようとしている。
	22	学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか	8	0	0	子どもの気持ちに寄り添いながら話している。
	23	大人の目の育ちに応じてしか子どもは見えてこないという、自省的な意識をもって、子どもを理解しようとしているか	7	1	0	子どもの気持ちに寄り添いながら話している。
	24	遊びや生活を通じて、子どもの気持ち（人格の形成）をはかっていくことを意識して、子どもに働きかけているか	8	0	0	
	25	子どもの育ちの状況を確認、保護者の意見も聞いて、個別支援計画書を半年に1回は見直し、作成しているか	5	2	0	保護者の個別支援計画書を見せてもらい、支援の基準が理解できた。
	26	会議や研修会を定期的に行い、子ども理解や実践などについて深めたり、学習したりしているか	4	2	0	
	27	子ども理解や実践についての、外部学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか	2	5	1	外部学習会や講座に参加する機会が減ってしまった。オンラインを活用したい。
保護者との関係作り	28	入会するとき、運営規定、活動内容、利用者負担 などについて、丁寧に説明しているか	6	0	0	
	29	保護者の言葉の内側に込められた思いや願いを汲み取ろうとして懇切に対応しているか	8	0	0	
	30	保護者との面談を行うなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取っているか	4	2	0	日々の連絡帳やメール等で聞き取っている。
	31	保護者に子どもや活動の状況を報告する機会をつくっているか	7	0	0	保護者あての手紙で行っている。
	32	保護者から、こどものことでの悩みなどの相談があったときは、懇切に対応しているか	6	1	0	
	33	会報などを定期的に作って、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促しているか	4	1	0	
	34	苦情などの意見が寄せられたときは、懇切に対応し、改善策をすみやかに伝えているか	6	0	0	
	35	保護者が自主的に作る父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくっているか	0	2	3	父母会はない。
36	親子行事やきょうだいの会などを行って、保護者・家族が交流を深める機会をつくっているか	0	1	4		

事業所評価表 集計結果

2023年1月現在

よりみちくらぶヤギのサンダル 管理者 大塚 裕美

	各設問	はい	どちらとも言えない	いいえ	
関係者・関係機関との連携	37 障害児相談支援事業所の担当者との連絡を取っているか	4	2	0	
	38 学校の年間計画、行事、下校時刻、送迎の方法などを確認しているか	7	0	0	
	39 学校の行事に参加して、学校での子どもの様子を把握しようとしているか	1	2	2	コロナ禍で行事参加が難しい、できていない。
	40 学校と支援会議などを行なって、子どもについて意見の交換を行っているか	1	2	2	対面ではむずかしい状況なので、その他の方法でできたらよいと思う。
	41 協力してもらえる医療機関と協定を結んで、子どもの病気やケガなどに関する緊急の事態に対応できるようにしているか	4	1	0	
	42 学校入学前や卒業後の諸機関と、必要に応じて連絡を取っているか	1	4	0	必要があれば連絡を取りたいと思う。
	43 地域住民に活動を理解してもらうための手立てを取っているか	2	3	0	パンフレットを持ち歩いている。
	44 障害のある子どもの放課後活動に関する連絡会に参加して、情報を共有したり、活動に協力したりしているか	1	2	2	

事業所評価表 集計結果

2023年1月 よりみちくらぶ ヤギのサンダル

